

## 4. 学びに合わせたスマイル8の使い方

### 4-1.ワークシートを活用して学び合う

小学校の学習シーンでよく使われるワークシートを、タブレットを用いて行う授業です。先生から配られたワークシートに子供たちは自分の意見や考えなどを書き込んでから、それを先生に提出することができます。集めた意見は、先生がまとめてクラス全員で共有したり、話し合い学習の素材として活用したりすることができます。


#### ■ 授業の流れ



スマイルの機能を使い分けると、状況にあったワークシート作りができます。

こんなときに	作り方	参考
シンプルなワークシートを素早く手軽に作りたい	デジタルノートで作る	▶ p.21
普段使い慣れている紙のワークシートをそのまま使いたい	写真に撮って活用する	▶ p.22
自由にレイアウトしてワークシートを作りたい	描画ソフトを活用する	▶ p.27

## ■ 操作手順

活用するアプリ：  ノート



先生

### 操作1 ワークシートの作成

あらかじめ授業で使うワークシートを作っておくと、デジタルノートを使った授業がスムーズに開始できます。

先生ユーザーでログインしてから、ガイドメニュー【あつめる・まとめる】の【配って集める】をタップします。



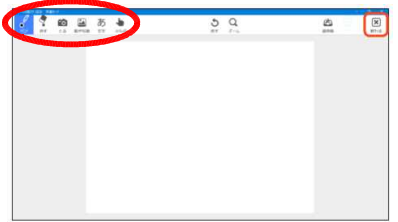
#### ① 新しくワークシートを作る

【新しくつくる】をタップします。

最初の画面で【作って保存する】を選び【OK】をタップします。



編集画面に、文章や線、イラストや資料などワークシートに必要な素材を配置します。

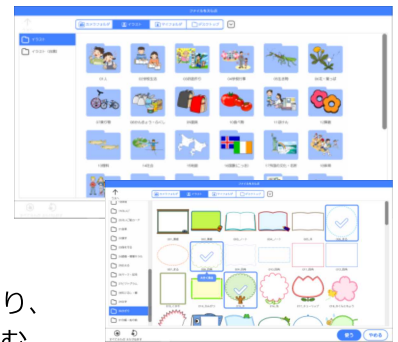


#### ② 既存のイラストや写真を貼付ける

スマイル8には、作品に幅広く使える多数のイラスト・写真素材が収録されています。すべて著作権処理済みなので、幅広く活用できます。

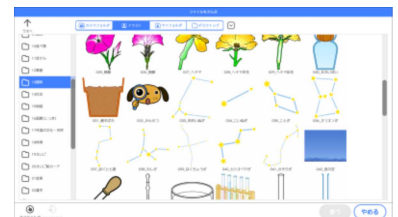
【絵や写真】をタップして【イラスト】を選択します。

例えば、「30かざり」や「31台紙・ぬり絵」にワークシートの回答欄作りに便利な枠の図形が収録されています。



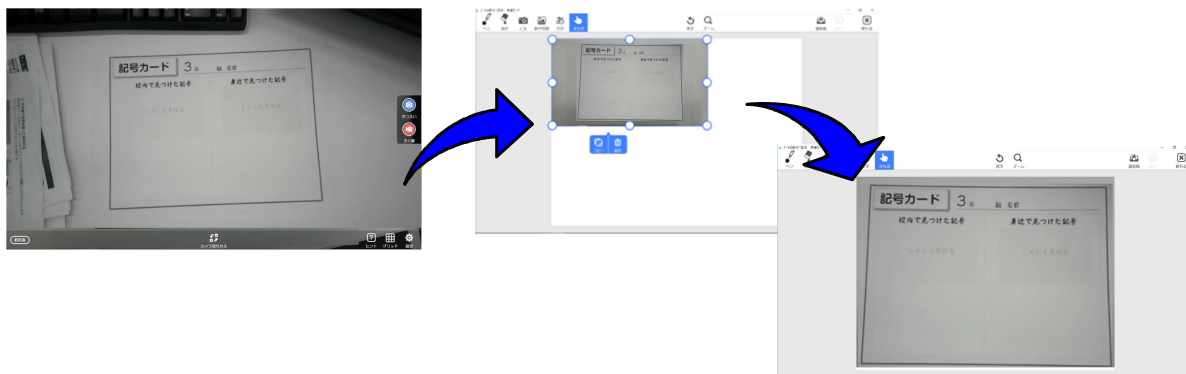
そのほか、多数のイラストや写真がジャンルごとに収録されており、使いたいイラストを全て選択して【使う】ボタンを押すと取り込むことができます。

理科や総合のテーマなどに関連する写真素材も8,000点以上収録されており、児童の調べ学習のまとめから先生のお便りなどの作成まで幅広く使えます。イラストは白黒できれいに印刷できる線画のものもあります。



### ③ その場で写真を撮って貼付ける

普段使っている紙のワークシートをタブレットのカメラで撮影してタブレット上のワークシートとして活用することも可能です。



資料集や教科書などを撮影して、そのままワークシートに取り込むこともできます。

※教育目的の一時利用は、著作権法で認められています。(著作権法第35条)

### ④ 保存する

ワークシートが完成したら【終わる】ボタンをタップして閉じます。

保存の確認メッセージが出たら【はい】をタップして保存します。



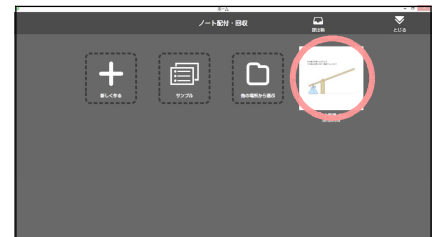
## 操作2 ワークシートを児童に配付する

授業中のワークシートの配付も【配って集める】からはじめます。



### ① 作っておいたワークシートを開く

すでにマイフォルダに自動保存されたワークシートがある場合は、右のようにグレーの画面に一覧表示されます。

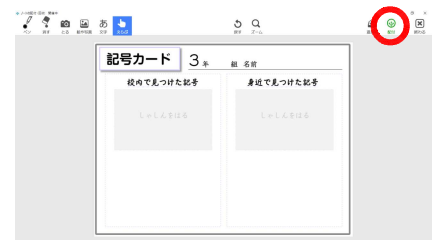


### ② 選んだワークシートを配付する

ワークシートを選択すると、配り先を選択する画面が出るので、**年組**を指定して【OK】ボタンをタップします。



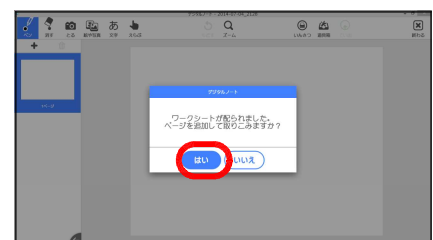
編集画面右上の【配付】ボタンをタップして確認画面の【はい】ボタンをタップすると、指定した年組の児童に対して、ワークシートの配付がスタートして、先生の画面は回答の待ち受け画面に切り替わります。



### ③ 児童機にワークシートが届く

児童がスマイルにログインしていると、ワークシートが配られた旨のメッセージが出ます。

【OK】ボタンをタップすると、配られたワークシートが開きます。





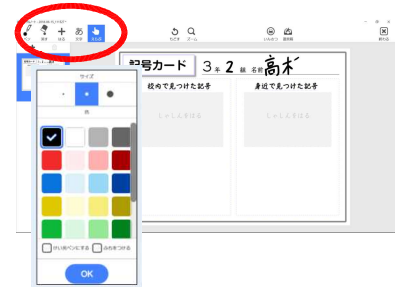
児童

### 操作3 学習活動をワークシートに書き込む

デジタルノートの上に、手書きまたはキーボード入力で意見などの書き込みを入れたり、写真やイラストを貼付けたりします。

#### ① 手書きの文字を書く

【ペン】ボタンでは、ノートに直接書き込むことができます。子供たちの好きな色で意見などを書き込みましょう。パレットから32種類の色と3種類の太さが選んで【OK】ボタンをタップします。



#### ② 写真や動画を貼付ける

【とる】ボタンでは、タブレットPCのカメラで写真や動画を撮り、ノートに貼り付けることができます。撮影をしたら、写真や動画を確認し【使う】をタップします。【つづけてとる】をタップすると、もう一度撮影できます。

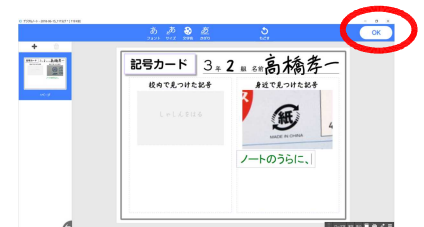


#### ③ キーボードで文字を入力する

【文字】ボタンで文字枠が表示され、文字を入力することができます。必要に応じて画面上部のボタンをタップして、文字の大きさや色を変更します。文字入力を終わるには【OK】をタップするか、文字枠以外のところをタップします。



※児童のデジタルノートは【終わる】をタップすると自動的にマイフォルダに保存されるため、保存ボタンはありません。



児童

### 操作4 回答を提出する

#### ① 提出する

答えや意見を書き込めたら、画面右上の【てい出】ボタンをタップします。

【てい出】ボタンは何度でも押すことができます。提出した後から思いついたことを書き足して、提出し直すこともできます。





先生

## 操作5 提出された回答をまとめる

児童がノートを提出したら、先生の回収待ち受け画面に届きます。  
先生は特徴的な意見をピックアップして、意見のまとまりを整理して示します。

### ① 提出されたノートを確認する

児童が提出をした時点のノートのデータが先生の待ち受け画面に送られ明るく表示されます。

また、提出をしていない児童の画面もリアルタイムで現在の回答状況が把握できます。



### ② 意見をまとめ、整理して見せる

先生は、ノートの一覧画面の中で代表的な意見をいくつかみつけてそのノートをタップして選択します。

次に画面下の【まとめ】ボタンをタップすると、選択したノートだけがまとめ画面の白紙上に表示されます。



ノートの大きさや配置は自由に調整できるので、一つひとつの意見を拡大表示して児童に発表させる場面でも活用できます。

先生は、同じような意見をグルーピングするなどして、意見のまとまりを整理します。それを電子黒板やプロジェクターに映して授業を進行します。

意見を整理するのに便利な背景を【思考テンプレート】から設定できます。



### ● One Point ● ワークシートじゃないノートも集めたい

あらかじめワークシートを配付していなくても【集める】を使うと、児童の【てい出】ボタンだけをONにして今書いているノートを集めることができます。



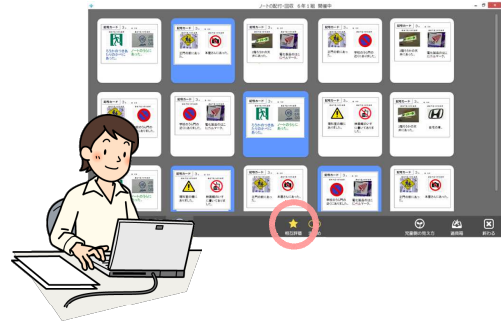


## ● One Point ● 出し合った意見をみんなで相互評価しよう

**相互評価**では先生がピックアップしたいいくつかの意見について、もう一度児童全員に投げかけて星付け評価をすることができます。

### ① 先生機で評価させたい意見を選ぶ

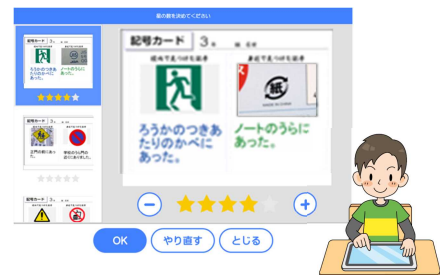
先生は、ノートの一覧画面の中で、相互評価させたい意見をタップしていくつか選択します。  
次に、画面下の【相互評価】をタップすると、相互評価がスタートします。



### ② 児童に星の数で評価させる

児童がスマイルクラス2にログインしていると、相互評価の画面が開きます。

画面には、先生が選んだ意見が表示されているので、児童は、それぞれの意見がどれくらい良かったか、星の数(1つ星～5つ星)をつけて評価します。

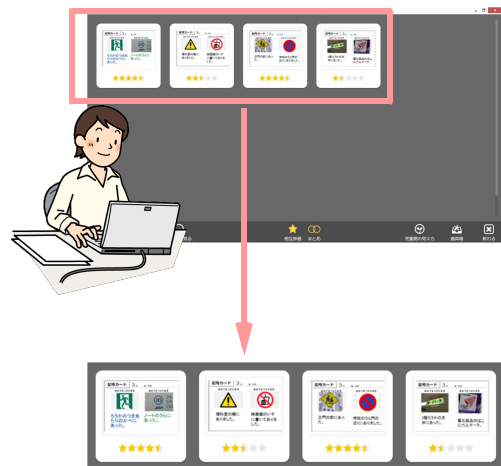


すべての意見に星をつけたら、【OK】ボタンをタップして提出します。

### ③ 先生機で結果を確認する

先生機の画面では、投票された星の数の平均点が表示されます。

クラス内の評価が星の数で可視化されるので、このクラスの中ではどの意見の評価が高かったかをみんな確認しながら話しあうことができます。





先生

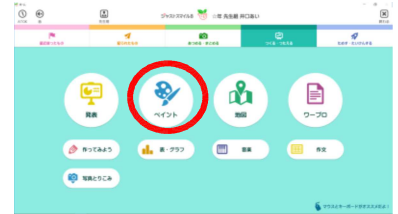


児童

## 操作6 自由に図形や分類表の枠を描く

スマイルのペイントソフトでは、子供たちがお絵かきをするだけでなく、先生がワークシートに使う図形・枠を描くツールとしても活用できます。

ガイドメニュー【つくる・つたえる】の【ペイント】をタップします。

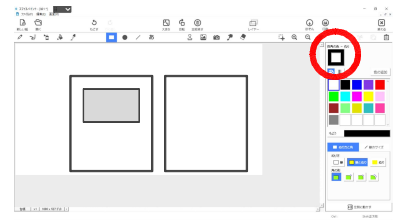


### ① 四角枠を描く

【四角形】ボタンから、四角形や四角枠を描くことができます。

【四角の色】で「ぬり」または「線」を選択し、下のパレットからそれぞれの色を選びます。

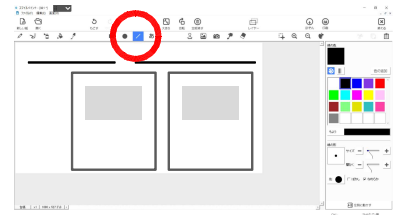
【ぬり方と角】では、枠線だけ引いたり四角枠の角を丸くする設定が、【線のサイズ】では線の太さ変更、実線・点線の変更などの設定ができます。



### ② 線を引く

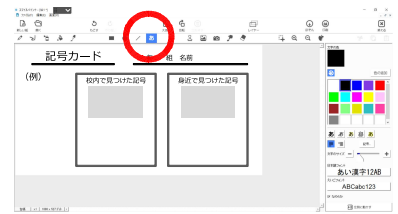
【まっすぐな線】ボタンから、直線を引くことができます。

右側のパレットで線の色や太さの変更、実線・点線の変更などの設定ができます。



### ③ 文字を入力する

【文字入力】ボタンを押すと、文字を入力できます。右側のパレットで文字の大きさや色の設定ができます。



### ④ カメラで写真を撮る

【カメラ】ボタンで、撮影プレビューの画面が表示されます。

【さつえい】ボタンをタップすると写真が真ん中に大きく貼りつきます。

貼り付けた直後は、右側のボタンで写真の大きさなどを変えることができます。



画像以外のところをタップすると写真の位置とサイズが確定します。







先生



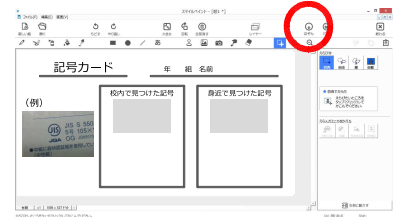
児童

## 操作7 イラストを保存する

### ① 保存する

【ほぞん】ボタンでデータを保存します。  
描いた図やイラストを他のアプリで活用する場合は、  
【絵として保存】を選択します。

保存した図形は、デジタルノートなどの各種アプリの  
【絵や写真】から参照して活用できます。



### ● One Point ● レイヤーを分ければ、やり直しも簡単

レイヤー機能を使うと、台紙（下敷きにする画像など）に影響を与えることなく、書き込んだ線だけを編集できます。

右のように、朝顔の写真に直接ブラシで書き込んだ後に文字を書き直したいとき、消しゴムツールで文字を消すと、下の画像ごと消えてしまいます。

そこで、【レイヤー】を使うと便利です。  
コマンドバーの【レイヤー】をタップして、「台紙」以外（ここでは「レイヤー1」）を選択してから、ブラシで文字を書きます。

このあと、レイヤー1にブラシで書き込んだ文字を消しゴムツールで消すと、レイヤー1の文字だけを消すことができます。選択していない「台紙」レイヤーには、消しゴムツールの影響は及びません。

